

美術史・文化遺産実習1ーⅢ

科目ナンバリング FAH-401

選択必修 2単位

岡部 昌幸

1. 授業の概要(ねらい)

楽しく学ぶうちに、日本、西洋に限らず、美術、芸術、文化財で、広い分野や時代に対応できる人材を養成するための実習を行います。美術作品や文化遺産を扱う専門技術にふれ、現場を体験します。日本と世界の美術史・文化遺産の内容を学び、その保存と活用の基礎的知識を文献解説と見学等で十分に習得したうえで、実際の作品、遺産にふれていくことを基本とします。掛け軸、巻物、屏風、浮世絵・版画、洋画などの絵画作品、ブロンズや木彫などの彫刻、陶芸やガラスなどの工芸作品、服飾・着物、アンティークなどの装飾美術、古写真や現代写真、建築、刀剣、シルクロードの発掘品とガラスなどの中から、適宜、美術館・博物館、工房などの現場の協力を得ながら、その理解と扱いを学んでいきます。美術品流通についても学ぶ予定です。また研究論文、卒業論文のテーマを探し、調査研究の基礎的作業を行い、学芸員、専門職、研究職への就職につなげるための第1歩したいと思います。

2. 授業の到達目標

学期中にさまざまな美術作品の理解と扱いに触れ、その魅力を知り、楽しく学び、技術の基礎を習得することを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

授業態度を50パーセント、課題作成を50パーセントで、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業中に指示します。

参考文献

岡部昌幸 『西洋骨董の教科書』 パイ・インターナショナル

5. 準備学修の内容

各班に、教員が主導する学外授業がありますので必ず出席してください。

6. その他履修上の注意事項

まず楽しみましょう。そして、良い人間関係をつくりましょう。自分が学ぶことが、自分の成長を導き、人や社会で役に立つことで充実感を得てください。授業への意欲、学友との協調性、社会貢献への意識を求めます。実習の実費を徴収することがあります。個人の予習・準備・復習・学習態度の状況によって、実習の進ませかた、成果の度合いが異なりますので、責任感をもって履修してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 もてなしの心と、扱いの心得ー茶道とコーヒー・紅茶、西洋のテーブルウェアから学ぶ礼儀・作法・マナー
- 【第2回】 美術品(洋画)、日本画の知識と扱い、
- 【第3回】 学外授業一面材のさまざまを学ぶ
- 【第4回】 書類の書き方
- 【第5回】 美術梱包の方法
- 【第6回】 学外授業ー美術作品の流通の実態を学ぶ
- 【第7回】 文献・資料の解説
- 【第8回】 修復の基礎知識
- 【第9回】 写真の扱い
- 【第10回】 学外授業ー資料収集の仕方
- 【第11回】 陶芸(1)
- 【第12回】 陶芸(2)
- 【第13回】 文献調査(1)
- 【第14回】 文献調査(2)
- 【第15回】 文章の書き方